万引きをしない させない 見逃さない

追放へSUMMERキャンペーン

挨拶する西村警視総監

「第4回万引き追放SUMMERキャンペーン」(警視庁、東京万引き防止官民合同会議・主催)が7月24日、日比谷公会堂(東京都千代田区)で開催された。

万引き事案は、昨年都内で約1万8000件(前年比6・1%減少)、今年は上半期で8200件(同12・1%減少)発生と関係団体による取組みの結果、着実に減少。しかし昨年、65歳以上の高齢者の検挙の割合が、20歳未満の少年の検挙の割合を上回り、新たな問題となっている。

主催者を代表して西村泰彦警視総監が「高齢者の万引き防止に力を入れていかなければならない。そのため、高齢者が孤立しない社会環境づくりに取り組みたい。少年については家庭や学校で引き続き規範意識の向上に努めてもらい、万引き行為を発見したときは『万引きは犯罪である』ということを厳しく指導してほしい」と挨拶した。

続いて、東京都青少年治安対策本部の河合潔本部長、日本小売業協会の土方清会長(東京都万引き防止官民合同会議共同議長)が挨拶。続いて警視庁少年育成課の婦人警官が「万引きについて考えよう」というテーマで、万引き防止公開講座として話をした。

また、万引き防止音楽劇「光あふれる道へ」(二期会マミーシンガーズ)、アトラクション「吹奏楽演奏&演技」(警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード)が演じられた。

【瀬戸雅彦　写真も】

万引き防止広報用ロゴマーク

駅前で万引き撲滅、訴え

渋警連　イベント警備を担当

警視庁では、7月22～28日までの7日間、「万引きさせないTOKYOキャンペーン」を実施した。キャンペーン初日となった7月22日、警視庁及び渋谷警察署では「万引きさせないTOKYOキャンペーンin渋谷」と題し、渋谷マークシティ1階イベントスクエアでセレモニーを行った。

セレモニーは、警視庁音楽隊による演奏で幕を開けた。その後、出席した渋谷警察署の七高徹副署長、山口寛峰警視庁生活安全総務課長、桑原敏武渋谷区長らが「昨年、1年間の都内での万引き認知件数は約1万8000件に上っている。その約4分の1を高齢者が占めており、深刻な社会問題になっている」などと挨拶を行った。

続いて、渋谷警察署員による万引き防止腹話術などが行われ、万引きが犯罪であることを訴えた。また、渋谷地域の各商店会万引き防止連絡会、渋谷防犯協会婦人部などが歩行者らにキャンペーンのリーフレットやお菓子、ティッシュを配布。万引き撲滅を呼びかけた。

今回のキャンペーンには、タレント・野々村真さんの娘である香音(かのん・12)さんがゲストとして参加し「万引きをしない・させない・見逃さないを合言葉に、この渋谷の街から皆で行動して、万引きを撲滅することを宣言します」と、万引き撲滅行動を宣言した。

渋谷警備業連絡協議会では、渋谷警察署の依頼により会員会社から5名の警備員を配置。セレモニー会場付近の歩行者の誘導などに当たり、混雑する会場付近の整理を実施した。

「万引きは犯罪」と訴えた